

竹及沈子用小石若干ヲ用フ

漁具使用法

餌ハ鯉漁業ニ使用スル三寸大ノ活鯉ヲ用ヒ漁場ニ達シ活餌トシテ釣鈎ニ裝シ一回三鉢位ヲ浮繩トシテ使用ス此時漁具ハ各一鉢ノ接續部ニ浮標樽ヲ附シ一鉢ノ中央部ニ孟宗竹一本ヲ何レモ浮標繩五尋トシテ結付シ其ノ下ニ重錘トシテ小石ヲ附シ潮上ヨリ魚群ノ中央部ヲ通過スル様流過セシメテ使用シ數回繰返シテ操業スル方法ニヨル而シテ魚群浮上セサル場合或ハ魚群ヲ認メサル場合ハ浮標繩ヲ五十尋ノモノト取換ヘ延繩ヲ礁上ニ達セシメ瀨魚ヲ漁獲スル方法ニヨレリ

經過成績

第一航海ハ十四年三月十九日根據地山川港ヨリ出漁シ荒天ノ爲メ口永良部島ニ避泊數日ノ後同二十日六日芽瀬ニテ小鯉十四尾漁獲シ灰島ノカニテ投繩シタルモ漁獲ナク二十七日海水混濁シ尙ホ餌鯉斃死缺乏セル爲メ空シク歸港セリ

第二航海ハ四月六日山川發強東風口永良部島入泊同十日によん、によん新曾根芽瀬ヲ經テ午後三時芽瀬ニテ鯉群ニ會シ三鉢投繩シタルモ鯉二尾ノ漁獲ニ過キヌ諏訪瀨島着十一日全島北西岸ニテ鯉百尾鱈二十尾ヲ釣獲シ尙灰島カニテ三鉢二回投繩鯉十五尾ヲ漁獲シ降雨荒天トナリ全島泊十二日前九時灰島カニテ三鉢二回投繩鯉七尾ヲ得歸港第三航海ハ四月二十三日山川發二十四日芽瀬ニテ二鉢投繩壹尾ヲ得諏訪瀨東曾根ニテ手釣ニテ赤鯉二尾ヲ得諏訪瀨島泊二十五日諏訪瀨東曾根ニテ投繩潮流南ニ急ニシテ壹鉢分ヲ流失シタルモ赤鯉五尾ヲ得后全島東北岸ニテ鯉群ニ會シ百十一尾ヲ得歸港

第四航海ハ四月二十九日山川發三十日諏訪瀨島ニ魚群アルモ餌付不良ナルタメ權曾根ニ轉漁鯉群ナク海面靜寂ニシテ潮流順調ナル故瀨物繩從漁セリ三鉢四回使用松鯛八〇赤鯉一小鯉三尾ヲ得五月一日權曾根ニテ瀨物漁從業鉢數延三十四鉢松鯛百二十赤鯉一小鯉三尾ヲ得歸港

第五航海ハ五月五日山川港發口永良部島入泊六日によん會根ニテ鯉百〇四尾ヲ得歸港

第六航海ハ五月十一日山川港發十二日芽瀬ニテ三鉢五回投繩鯉三四斤鯉三〇六斤ヲ得歸港

第七航海ハ五月十七日山川港發荒天トナリ口永良部ニ滯泊十九日中ノ島諏訪瀨島附近ニ魚群ヲ見ズ續航惡石島ニ向ヒ同島着翌二十日同島南會根ニ於テ鯉群ヲ見タルガ故ニ三鉢四回投繩セルモ漁獲ナク諏訪瀨島ニ向ヒ途中鱈二尾ヲ漁獲シ諏訪瀨島ニテ淡水補給後荒天トナリ中ノ島ニ避泊二十一日全島泊二十二日諏訪瀨島東會根ニ於テ三鉢二回及瀨魚從漁鯉大三小九鯉二十一瀨魚五尾ヲ得歸港

第八航海ハ五月二十八日山川港發口永良部休泊三十日中之島ニ移リ三十一日諏訪瀨西會根ニテ從漁シ三鉢五回投繩鯉大四尾小十二尾鯉一〇尾ヲ得荒天トナリ中之島ニ避泊三日諏訪瀨西會根ニテ三鉢七回四鉢一回投繩鯉大四小三十五鯉三十鱈一メバチ二尾ヲ得歸港

以上各航海中風潮ニ妨ラレヌ有効ナル操業ヲナセルハ鯉漁ニ於テ六月三日五月三十一日ノ諏訪ノ瀨西會根五月二十二日諏訪瀨東會根ニシテ目的トスル大鯉小鯉ノ延繩ニ好漁アリ又瀨魚繩ニ於テハ四月三十日及五月一日權會根ニ於テ兩日中松鯛二百尾赤鯛二尾其他雜魚ノ好漁アリ權會根ハ瀨面軟カニシテ礁面又廣濶ナリ松鯛ノ棲息夥シク瀨魚漁礁トシテ最モ適當ナルヲ確メ諏訪ノ瀨東會根モ底棲魚類赤鯛白鯛等ノ漁獲アリタルモ瀨面粗ニシテ加フルニ潮流急速ナル爲メ操業ニ至難ノコト多カリシ

本年ハ初期鯉群ノ回游少カリシモ五月ヨリ六月ニカケ魚群ヲ認メ屢々投繩セルモ漁獲多カラズ漁場ハ諏訪ノ瀨附近ヨリ惡石島附近平島近海ニ操業セルモ鯉ヲ目的トスルモノハ尙考究スヘキコト多シ

瀨魚繩ト共ニ從業セントスルモノハ七島漁礁ニハ底棲魚ノ棲息多キカ故ニ將來民間漁船ノ漁場トシテハ長モ有望ナルモノナリ

廿五日	廿四日	廿三日	自十九日 至廿二日	自十四日 至十八日	十三日	十二日	十一日	十日	自七日 至九日	六日	四月五日
曇	西半					晴北 三西 同	雨北 一東 一灰 カ島	曇			
二南 會瀬諏 根東訪	二晴 根瀬諏 新會訪							一四 メ セ			
AM 7 00	AM 9 00					AM 9 10	AM 10 30	PM 3 00			
二三	三					六	六	三鉢			
三、七	三、七					三、七 東 急同	三、三 東 急同	東 急タレ 鉢			
鱧生 鱧仔	鱧生 鱧仔										
シカ ツ腹 ビチ	赤鱧 腹					カマ グロ カ	鱧ツ シビ チカ	鱧			
七三	二					七	三三 二五 九〇	二尾			

小型發動船漁業試験

前八時山川出漁七島方面ニ向ヒタル共佐多岬正横頭機
關故障ノタメ引返シ后四時山川入泊
正午山川出帆后九時口永良部入港
荒天休泊
前八時口永良部出帆によん、によん新會根めぜチ經テ
すわのせニ向フ后七時五十分すわのせ着
前八時同地發同九時十分灰島たカニテ三鉢二回投繩正
午氷缺乏ノ爲メ歸港ノ途ニツク
正午山川入港
餌待ノ爲メ休泊
餌馴レノ爲メ休泊
山川出漁后九時口永良部入泊
前八時三時口永良部發口島西北ニテ前九時三鉢投繩中島ニ
テ清水補給諏訪ノ瀬島ニ向フ同島北東岸假泊
前八時三十分錨地發前七時廿分三鉢投繩同八時三十分
揚繩同十一時臥蛇島方面ニ航走同十一時三十分三鉢投
繩餌料缺乏ノ爲メ后二時切上ケ鹿兒島ニ向フ

四月廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	卅日	五月一日	二日	四日	五日	六日	七日	十一日	十二日	十三日
				晴無風	晴微東	南東			曇微西			晴東	晴
				權曾根	權曾根	權曾根			上瀬			東メ	
				PM 5 00	AM 6 37	PM 6 00						AM 7 00	
												同 9 00	
				一二	四三							一三	
				三、五	三、五				二九、七			三、五	
				鯖仔	鯖仔				チタレク			鯖仔	
				赤松	赤松				鰹			鰹	
				カ腹鯛	カ腹鯛							三〇四斤	
				八〇	三〇				二四八、二九〇			六、三〇〇	

前七時山川入港同八時三十分同所發后〇時五十分鹿兒島入港

前九時鹿兒島發正午山川着漁具修繕

諸準備整へ初十一時十分山川發后四時硫黃島東通過

前三時諏訪ノ瀨島着漂流前五時出流平島權曾根ニ向フ
鮪群ナク瀨物繩投繩(三鉢四回) 平島假泊

前四時三十分平島ヨリ出流權曾根ニ向フ同六時同地着
同六時三十分ヨリ瀨物繩投繩三鉢十回四鉢一回使用淡
水補給ノメメ諏訪ノ瀨島ニ向ヒタルモ荒天トナリ鹿兒
島ニ向フ

正午山川寄港
后五時半鹿兒島港着

后一時三十分鹿兒島港出發同六時山川入港

前十一時二十五分山川港出帆后八時三十分口永真部入

前五時口永真部出帆七島ニ向フ九回ノ獲餌チ行ヒ鰹ノ
捕獲ニ努ム后七時口永真部島到着漁獲物賣却同八時餌
料缺乏ノ爲メ山川ニ向ヒ出帆

前五時山川入泊船体修理チナス

前九時山川港出帆七島ニ向フ后六時口永真部沖合通過

前三時口ノ島入港同五時同島出帆メセ附近漂泊三鉢投繩
前九時ヨリ三鉢四回投繩餌料缺乏ノ爲メ歸港

山川ニ漁獲物賣却ス餌料購入ノタメ休泊

荒天休泊

五月十七日	十八日	十九日	廿日	廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	廿六日	廿八日	廿九日	卅日	卅一日
			臺西南 西三		晴北 一西						臺西南 西二	
			惡石島		曾瀨 根東訪						諏訪 西瀨	
					AM 8 ⁰⁰						AM 6 ⁰⁰ PM 6 ⁰⁰	
			一二 三四三		六						一五	
			活仔鱈		西 活仔鱈						東北東 急 チタイ レン クシ	
			鱈		七 離ア 鱈同 鱈 魚ヲ 小大						鱈同 鱈 小大	
			二		三 四一 三九三 三六三						三三四	
前七時山川ヨリ出流後五時五十分口永良部着同七時三十分ヨリ出流シタルモ風浪激シク一時半ニシテ引キ返シ同十一時三十分同所歸着	荒天休泊	前七時口永良部出流諏訪ノ瀨島惡石島ニ向フ后六時惡石島着同島南岸假泊 前四時三十分鐘地發同六時十分ヨリ投網三鉢四回試験セルモ見込ナク同十一時諏訪ノ瀨島ニ向フ后二時三十分同島發東曾根ニ向フ后六時中島北東端ニ假泊ホロニテ鱈ニ尾漁獲	荒天避泊	前四時三十分中島發諏訪ノ瀨東曾根ニテ從漁后二時ヨリ餌料不足ノ爲メ歸航ノ途ニ就ク	前五時三十分山川港着漁獲物賣却	荒餌ノタメ山川休泊	荒天山川休泊	諸準備整へ后二時山川出泊同十一時口永良部着	荒天ノタメ口永良部休泊	后二時三十分口永良部ヨリ出流同九時三十分中島着同島西北岸假泊	前二時三十分中島發同四時三十分諏訪ノ瀨島西方曾根着同六時ヨリ從漁后三時再ビ從漁后六時諏訪ノ瀨北西岸ニ淡水補給同所假泊	

小型發動船漁業試驗

六月一日	二日	三日	四日	五日	合計
		臺北東 瀨取	兩北東 二	臺北東 一	
		西訪			
		AM 7 ³⁰ PM 3 ⁰⁰			
		三			
		三空 東北東 急 タレ 鱈			
		同鱈 小六 メキチ			
		二一三 三〇四			
		八、七〇			七〇、九六
<p>荒天降灰ノ爲メ中島ニ轉錨前八時三十分中島北東岸 連泊</p> <p>前五時三十分中島東岸ニ轉錨荒天休泊</p> <p>前二時三十分中島發同六時諏訪ノ瀨西着同七時三十分 ヨリ投繩正午迄ニ三鉢四回投繩午後三鉢三回四鉢一回 投繩同六時碎氷缺乏ノ爲メ山川ニ向フ</p> <p>前十一時山川着漁獲物賣却后荒天トナリ同港休泊</p> <p>前九時山川發鹿兒島ニ向フ后十一時鹿兒島港着本試験 終了</p>					

一、旗魚(秋太郎)延繩漁業試驗

趣旨 本縣南方海面ノ旗魚漁業ハ民間從漁船多カラヌ漁場區域モ北偏セル梅吉會根黑島方面ニ止マルモノ多キ

ユへ前年來本場ハ試驗ニ着手シ漁場南進ノ適否ヲ明ニセントセリ

方法經過 縣内ノ旗魚漁業ハ鹿兒島灣内ニハ流刺網行ハル、モ灣外ハ延繩漁法ニ限ラレタルユへ本場ハ一昨年

來流網ヲ試ミタルモ表面海流迅速ニシテ流網ノ使用ニハ好適セサルニ鑑ミ本年ハ延繩漁法ニヨリ南方漁場ハ松島丸ハ

船体小ニシテ困難ナルタメ照洋丸ニヨリ松島丸ハ北部既知漁場ニ於テ試驗スルコト、セリ

松島丸ハ船長以下十一名外ニ主任者一名乗組十四年九月二十三日ヨリ十二月八日迄從事シ初期ヨリ十月九日迄ハニヨ

ン會根黑島北部ニ試漁シ其后ハ餌鯖釣獲ヲ主トシ之ヲ照洋丸ニ提供シ十一月十五日后ハ再ヒ延繩漁ニ移リ梅吉會根、

東新會根ニ三回漁業セリ照洋丸ハ船長以下十七名外ニ主任者一名乗組十月十四日松島丸釣獲ノ餌鯖ヲ用キ十一月十

四日迄ドンコ會根、臥蛇西、メクラ會根、ヲガン西ニ三航海漁業シ后ハ鮪延繩漁ニ轉セリ以上兩船ノ漁獲ヲ合シ旗魚十六尾鱸十九尾價格六百六十三圓ヲ得タリ

成績

松島丸ニテ梅吉會根黑島北部等北偏ノ漁場ニ從事シタルハ漁季前后ニ亘リ六日間出漁シ漁獲少カリシモ當時ハ民間船モ概シテ薄漁ナリシ照洋丸ニテ出漁セル七島方面ハ未タ民間船ノ從漁スルモノナク本船ニ由リ端緒ヲ開ケルモノニシテ旨、ヲガン西、臥蛇西會根等ニテ少數ナカラ漁獲シ其北偏漁場ノ低温トナリ旗魚ノ回游ヲ減セルトキ七島方面ハ尙ホ適温ヲ持スルユヘ（此水温二十三度）漸次此方面ニ出漁シ漁季ヲ延長スルコトヲ得ヘシ又旗魚延繩餌料ハ普通活鮪ヲ用フルモ本年照洋丸ニテ氷濱トシタルモノヲ使用セルニ漁獲アリ活鮪ヲ得ラレサルトキ之ニ由ルトキハ餌待休業ヲ爲スノ要ナシ他地方ニ於テハ常ニ活餌ニヨラス漁業シツ、アル例ニ見テモ明カナリ
せきやまノ各種ニ付比較セルニ左表ノ如ク黒せきやまワイヤー付ノモノ最モ良好ナリシ

月 日	魚ノ種類	白セキヤマ	白セキヤマワイヤー付	黒セキヤマ	黒セキヤマワイヤー付
九月二十六日	フ				一
十月七日	カ				一
同 十四日	フ				一
同 十五日	フ				二
同 二十四日	フカ				一
同 二十五日	カ				一
十一月八日	フ				一
同 九日	フカ				二
同 十日	フ				二

十一月十九日	フ	カ	フ
同 二十一日	カ	シ	カ
計	カ	キ	カ
	三	一	
	三	五	一
	一	一	
	三	九	八

漁業表 (大正十四年度松島丸)

旗魚延繩漁業

月日	天候	漁場	漁具	漁具使用	海面	潮流	餌料	漁獲	摘要
九月廿三日	曇 一西								前九時五十五分鹿兒島港發着三時山川入港
廿四日	曇 北東 三								鯧餌鱈七〇斤購入午后九時三十分北東強風滯泊
廿五日	曇 北東 三				三、五				前九時碎氷一噸積込山川發着五時屋久曾根着六時三十分ヨリ鯧釣
廿六日	晴 北東 二	イ	AM 6 ³⁰ PM 3 ⁴⁰	一二鉢	三、五	東急活	鯧鱈	一	前一時屋久曾根發六時三十分投繩二時ヨリ揚繩三時四十分終了屋久曾根ニ向フ后八時屋久曾根着鯧釣從流ス
廿七日	曇 北東 三								餌鱈不流ナルタメ七時半一湊入港
自廿八日至三十日									荒天休泊

至自	計	廿日	廿九日	廿八日	廿七日	至自 廿四日 廿五日	廿三日	廿二日	廿一日	廿日	十九日	十二月 十八日
		曇 北	曇 北西	曇 北	晴 北西	晴 南東	晴 北	晴 北西	晴 北西	晴 北	曇 雨 北	曇 西
									ホ		ニ	
									AM 7:10 PM 1:00		AM 7:00 PM 3:50	
									十二		十二	
									二 〇 北西急 氷藏鯖		三 〇 北西急 活鯖	三 〇
									マカサ キ		鯖 水	
サ カ シ キ バ		同	同	イ カ								
		五 〇	六 〇	三 〇					六 三 四 〇		四 三 一 〇 五 〇	
	二 八 五 〇											
口永良部島ニテ荒天休泊			イカ漁場碇泊后五時ヨリ從漁從漁船二十隻旭船モ漁獲ナシ	后五時半ヨリイカ釣從漁餌付不長後風力強ク荒天トナル	前十時四十分山川港發新曾根ヲ經テ八時十分永良部着	荒天休泊	漁獲物賣却后〇時四十分鹿兒島港發后五時十分山川港着	前九時鹿兒島港着	前〇時三十分口永良部發七時東新曾根着北微東ニ投錨后二時ヨリ揚繩五時終了梅吉曾根ニ向ヒタルモ荒天トナリ鹿兒島ニ向フ	荒天休泊	前二時三十分湯島發六時橋吉曾根北ニ西ニ投錨后一時半揚繩開始三時五十分終了四時口永良部ニ向フ河豚皆多シ	前十時四十分山川港發后六時四十分湯島發着付良好

十月十三日	十月十四日	十月十五日	十月十六日	十月十七日	十月十八日	十月十九日	十月廿一日	十月廿二日	十月廿三日	十月廿四日
晴北東 二	晴北西 三	曇北 三	曇北東 一	晴北東 一	晴北東 一	曇北東 一	晴北西 三	晴北西 三	晴北 二	晴北 二
い	い	ろ							は	
AM10 ⁰⁵	AM10 ⁰⁵	AM9 ⁴⁵							AM7 ³⁰	
PM7 ⁵⁰	PM7 ⁵⁰	PM6 ⁰⁵							PM8 ⁰⁰	
十二	十二	十二							十二	
三、八南東 緩活	三、八南東 緩活	三、四東南東 緩死							二、八北 緩死	
鯖小	鯖小	鯖小							鯖旗	
鯖	鯖	鯖							カ魚	
一	一	二							三三	

活養鯖正午迄ニ全部斃死ス后十一時松島丸鯖漁場ヨリ鯖三百五十尾漁獲本船ニ移養

前〇時一湊發十時五分ドンコ曾根北西ニ投繩后七時五十分揚繩終了臥蛇島ニ向フ

前六時四十分臥蛇島ヨリ出漁前九時四十分臥蛇島西二十湮ノ地点ニ投繩后六時五分揚繩鹿兒島ニ向フ

后三時四十分鹿兒島港歸着

后一時十分鹿兒島港發五時山川入港

前十時三十分山川發后一時五十分枕崎港着

枕崎ニテ重油百五十罐積取荒天模樣ノ爲メ滯泊

前七時二十五分枕崎港發五時熊野浦入港松島丸先日來荒天ノ爲メ出漁セズ餌鯖ナシ

松島丸本朝サバ五十尾許リ漁獲シ來リタルヲ以テ蓄養籠ニ移ス

松島丸本朝鯖二百尾漁獲シ來ル蓄養籠ニ移ス餌料不足ニテ熊野浦滯泊

松島丸本朝鯖六十尾漁獲シ來ル活籠ニ蓄養ス一昨來蓄養セルモノ約二割斃死ス后一時十五分熊野浦出漁曾根ニ向フ

前七時メクラ曾根着西北西ニ投繩后八時揚繩漁場ニ漂泊

十月廿五日	晴	北	一	AM10 ⁵⁵	PM7 ⁴⁰	十二	二、四、北	急死	鯖旗	魚	二二	二九四、〇六	前十五分メクラ曾根着北西ニ投縄后七時四十分揚繩鹿兒島ニ向フ
廿六日	晴	北	一										后二時十分鹿兒島港着
廿七日													鹿兒島港滞泊
廿八日	曇	東	三										后十二時三十分鹿兒島港發種子島熊野浦ニ向フ
自廿九日至卅一日													廿九日熊野入港后事故休泊
計												四、五、三、九、四、〇、六	荒天休泊
自十一月一日至二日													前九時四十分熊野浦發后三時四十分一湊着
三日	晴	北	三										餌待休泊松島丸鯖釣出漁シ鯖士尾漁獲シ本船ニ氷漬ス
四日	晴	南	三										餌待休泊
五日	晴	北	三										餌待休泊夜松島丸鯖釣出漁
六日	晴	北	二										朝松島丸ヨリ鯖三百尾受取り氷漬ス前九時一湊發オカン西ニ向フ
七日	晴	北	二										前十四時四十五分オカン北々西ニ投縄后七時三十分揚繩臥蛇西ソネヘ向フ
八日	晴	北	二										

小型發動船漁業試験

十一月九日	曇北	AM 7:30	PM 7:30	十二	二四、北	急東	同	フカ	其 フカ 他	四二 二四、 六六	前六時三十分臥蛇北々西ニ投繩后七時半揚繩漁場ニ漂流ス
十日	曇南西	AM 7:45	PM 10:25	十二	二四、北	急東	同	フカ	三	三	前七時四十分メクラ會根ニ投繩前十時二十五分揚繩鹿兒島ニ向フ
十一日	晴北東										前六時二十分鹿兒島港着
十三日											鹿兒島港休泊
十四日	晴北東										正午鹿兒島港發后四時山川入港松島丸ニ漁具一切ヲ渡シ共同試験ヲ終ル
累計										八八 三六、 四六	

三、鱒漕釣漁業試験

趣旨 近年有明灣附近小帆船ニヨル鱒漕釣漁業行ハレツ、アルヲ以テ之ニ動力付漁船ヲ應用スル經濟及同灣外ニ亘リ漁場擴張ヲ爲シ得ルヤヲ明ニセントシ着手セリ

經過 試験船松島丸ニ漁夫五名機關部三名外ニ主任者ヲ合セ九名乗組十四年十二月二十四日鹿兒島發二十五日志布志港ニ着一月三日迄ハ事故ノタメ出漁セス一月四日ヨリ同八日迄有明灣外都井崎ヨリ宮崎縣目井津沖合及既ニ行ハ

ル、枇榔島近海ニモ操業セリ當時漁季ノ初メニシテ鱈ノ回游少ク魚体二三百分ノモノニシテ準備セル擬餌釣ハ大型ニ失セルユヘ小型ノモノニ改メ一月十一日ヨリ十三日迄枇榔島近海ニ從漁セリ同時ニ漁業セル地方帆船二十余隻アリタルモ漁獲微々トシ本場船ハ獲ルトコロ僅ニ三尾ニ止マリ引續キ試験スルノ價值乏シキモノト認メタルヲ以テ同十六日ヲ以テ終了引揚タリ

成績 前記スル如ク既知漁場枇榔島近海ニ於テハ僅少ナカラ漁獲ヲ見タルモ此程度ニ於テハ強テ發動船ニヨルヲ利トスルヲ見ス同灣外ノ漁場擴張ヲ期待セシ方面ニ於テハ全ク釣獲スルヲ得ザリシヨリ果シテ漁場タルヤ否ハ猶疑問アリ本年ノ實驗ニヨリ得タル資料ヲ附記シ參考ニ資スヘシ

魚体ト漁具 有明灣内ニ漁獲サル、鱈ハ二三百分ヨリ一貫大ノモノナルヲ以テ曳系ハ麻製尋一匁内外ノモノヲ可トシ擬餌釣ハ長三寸重量五匁位ニテ竹管、釣、魚皮(河豚、鰻ノ皮)ヨリ成リ曳系ハ柿澁染ノ方可ナリ

天候 曇天ノ日出日没前後良好ニシテ風向ハ南西ノ風小波アルトキ可ナリ

發動船ニヨル曳方ハ速力三哩位ニ調節シ船尾ヨリ二本兩舷ヨリ張竹四本ヲ出シ先端ニ曳系ヲ附シ操業スルモノニシテ曳系ハ推進器ニ纏絡ノ恐アルユヘ帆船ヨリ稍ヤ長キヲ要シ四十尋乃至七十尋位ヲ可トス(帆船ハ擬餌釣四個ヲ使用シ曳系ハ二十尋乃至五十尋トス)

漁業表 (大正十四年度松島丸)

鱈漕釣漁業

月	日	天候	漁場	漁具使	表面海	潮流	漁獲	物	摘	要
		風力	符號	用時	水温度	流方向	種類	數量	一尾平均重量	價額

十四日	十三日	十二日	十一日	九・十日	八日	七日	六日	五日	四日	三日	一月 二日	用一日	自廿六日	自廿五日	十二月 廿四日
曇 北西	晴 南東	曇 南	晴 南西		曇 北西	晴 北西	晴 北西	曇 北西		晴 北				晴 北	晴 北
イ	イ	イ	イ		イ	イ	ロ	ロ		イ					
至自 〇、六、〇〇	至自 五、五、〇〇	至自 六、〇、〇〇	至自 三、一、五〇		至自 二、〇、〇〇	至自 七、〇、〇〇	至自 一、〇、〇〇	至自 七、三、〇〇		至自 一、六、〇〇					
二、八、 西	二、二、 南東	二、二、 北西	二、三、 西		二、五、 南西	二、五、 西	二、〇、 北	二、〇、 北東		二、五、 東					
	同	同	同												
	二 同	二 同	二 同												
	一、三、 同	一、三、 同	一、三、 同												
同	同	同	同		前日ニ同シ	枇榔島西南ニ從流前十一時志布志ニ入ル	前七時半ヨリ都井沖從流后一時半志布志ニ入ル	前六時ヨリ都井沖從流后一時半日井津ニ入ル	前九時十分發枇榔島ヨリ火崎ノ横斷觀測ヲナシ后四時半日井津入港	前六時四十分漁場着十一時迄從流歸港	荒天休泊	前時五十分出漁セシモ強風波トナリ引返ス	事故出漁セス	前八時發后五時四十分志布志入港	后一時五十分鹿兒島發后五時四十五分山川入港

釣鉤 大一寸二分錫鍍セルモノ

新調費(一鉢分)

金一圓六十四錢 幹繩綿糸二十本二子合二百五匁代

金五十五錢 技糸上麻二十五匁

金二十錢 釣鉤百本

金五錢 染料ラインドモーダント

計金二圓四十四錢

漁具ノ使用ハ鹽籠又ハ生鯖ノ切身ヲ鉤ニ裝シ一回五六鉢ヲ連接シ殆ント目的ノ底礁上ニ達セシムル様ニシテ潮上ヨリ礁上ヲ流通過セシメ引揚クル方法ニヨレリ

經過成績 松島丸ハ十五年二月三日鹿兒島港發同四月二十六日歸着迄七十三日間出漁三十二日投繩九十一回ニ

シテ漁獲金四百四十一圓六十三錢ヲ得タリ各航ノ概要左ノ如シ

第一航 二月三日鹿兒島發五日種子島熊野着同八日ヨリ從漁セリ三月初迄ハ相當漁獲アリ民間船ハ初期從漁

ナカリシモ本船ノ漁報ヲ齎ラシテヨリ附近ノ發動船四隻帆船十四隻出漁スルニ至リ各好漁獲ヲ爲セリ

第一航 三月十六日鹿兒島發種子島熊野ヲ根據トシ同地東微北十二三湮ヨリ南微東十三四湮ノ漁礁エ從漁セ

ルモ漁況前航ニ比シ頓ニ衰ヘ四月ニ入りテハ始ント鯖ノ漁獲ナク瀬魚ヲ得ルニ止マリ成績不良民間船ハ早ク終漁セ

本年試驗セル漁場ハ熊野浦ヨリ東微北及南微東ニ在ル三之助、べんてん、黒山出、へ女のはしま、へ女の黒山出、中ノ間曾根等ノ底礁ニシテ水深百尋内外ナルヲ以テ浮繩ノ長サヲ七十尋トシ此礁上ニ延繩ノ達セントスル程度ニ沈メ漁

獲物ハ鯖ノ外松鯛鱸等瀬魚モ混獲セラル

試験ノ結果ニヨレハ本漁場ニテ鯖延繩ニヨリ下層ニ鯖ノ漁獲ヲ見ルハ水温ノ最低期(表面十八九度)ニ限ラレ稍高温トナルニ從ヒ魚群ハ浮上スルモノ、如ク本年ノ薄漁ナリシハ此水温關係ノミニ歸スルヤハ本年丈ノ試験ナリシユヘ斷完スルハ早計ナルモ其一因ヲ爲スモノナラントハ想像ニ難カラヌ從ツテ他漁ト兼營シ時期ニ應シ爲ス組織ニヨルヲ可トスヘシ又漁具ノ構造ハ初季調製ノモノハ幹繩ニ綿糸十六本ニ合技糸ニ綿糸十二本乃至十四本ノモノヲ用ヒタルニ幹繩ハ力弱キ感アリ技糸ハ瀬ニカ、リ切斷スルモノ多ク適當ナラス之ヲ后期調製ノモノ、如ク幹繩ヲ稍ヤ大ニシ技糸ヲ麻製ニ改メ使用ニ適スルヲ認メタリ幹繩迄ヲ麻製トスルコトハ勿論可ナルモ經濟上ヨリ見必シモ其要ナキカ如シ

漁業表 (大正十四年度松島丸)

鯖延繩漁業

月日	天候		漁場符號	漁具使用時	漁具使表面深	潮流海流方向速度	餌料種類	漁獲種類	數量	價額	摘	要
	風力	候										
二月三日	曇	南										
四月	曇	東										
五日	曇	北										
六日	曇	北西										

后二時廿五分鹿兒島港發同七時山川港入泊
 餌料鹽漬込ミ前九時十分山川發種子島熊野浦ニ向フ途中荒天トナリ大泊ニ寄泊ス
 前七時四十分大泊發后四時五分熊野浦着
 漁具構成ノタメ熊野浦碇泊ス

十七日	十六日	十五日	十四日	十三日	至自 十二日	九日	八日	二月 七日
曇	晴 北東		雨	晴		曇	曇	晴
一北	二東		三南	一南		三東	二西	一北
同	イ		ハ	ロ		イ		
AM7 ²⁰ PM4 ²⁰	AM8 ⁵⁰ PM4 ⁰⁰		AM8 ⁰⁰ AM10 ⁵⁰	AM ³⁰ PM4 ¹⁵		AM7 ³⁰ PM3 ⁰⁰	AM7 ⁴⁵ PM3 ¹⁰	
二四 二鉢回	一三 一八鉢回		七一 鉢回	一三 一八鉢回		一二 一六鉢回	一三 一六鉢回	
一九、〇	一九、〇		一九、五	一九、七		一八、七	一九、四	
N緩	NNE緩		NNW急	N急		SW緩	SSE緩	
同	鯖		同	鯖		同	盛 鱈	
小太ホア松鯖 フカ目タヲ鯛	松ホア鯖 鯛タヲ			太ホ鯖 目タ		太松鯖 目鯛	松鯖 鯛	
一一 四二〇	一九五 二四二		一五三	一八五		一八〇 一三〇	二〇三 八三、六	
五、一〇、五	四、三			七、九		五、六	三、六	
前五時三十分熊野發三之助曾根ニテ四回從漁同六時熊野浦入泊	前六時十五分熊野發三之助曾根ニ三回從漁后六時熊野浦入泊	荒天休泊	前六時四十五分熊野發中ノ間曾根操業中風雨加ハリ歸港	前四時卅五分熊野浦發分辨綱曾根操業後まぞれニ轉同漁五時五十分熊野浦入泊	荒天休泊	前五時四十分熊野浦發三之助曾根ニテ操業后四時五十分熊野浦入泊	六時熊野浦發小雨山見不明ニテ操業困難ナリ后三時十分流場發同四時四十分熊野浦入泊	同前

鯖延縄漁業試験

廿七日	廿六日	廿五日	至自 廿四日 廿二日	廿一日	廿日	十九日	二月十八日
	曇 二束	晴 北西		曇 東北 三	曇 二北		曇 西南
	=	同		同	同		イ
	AM735 PM440	AM900 PM501		AM700 PM100	AM820 PM552		AM730 PM300
	一四 七鉢回	一三 六鉢回		一二 二鉢回	一二 七鉢回		一三 九鉢回
	八、三	一八、三		一九、〇	一九、〇		一九、一
	SSW緩	SE緩		N急	NE急		N緩
	鯖	磯 鯖		同	同		鯖
	ホ松ア太鯖 メ鯛ヲ目	ホ松ホ鯖 鯛メ		松白鯖 鯛鯛	ホ松鯖 メ鯛		松鯖 鯛
	二七 一三三	二〇 一三三		二二 一三三	二三 一三三		一九 一三七
	四、三	一九、三		九、〇	七、七		五、〇
荒天休泊	前五時廿五分熊野發黒山出會根ニ從漁六時卅分熊野入泊	前五時五十分熊野發三之助會根ニ從漁同六時五十分熊野入泊	荒天休泊	前五時熊野發三之助會根ニテ正午ヨリ波浪高ク操業困難トナリ三時熊野浦入泊	前六時廿分熊野發三之助會根ニ操業中河豚多ク釣ノ損失百本 荒天トナリ五時三十分熊野浦入泊	荒天休泊	前四時十分熊野發三之助會根山當不明ニテ漂泊ヌ同七時三十分ヨリ操業開始后五時十分熊野入泊

計	二月廿八日	晴	北	同	AM7 ⁴⁰ PM3 ³⁰	三五回 一五鉢回	一八、三	N急	鯖	松太 鯛目	七一 一〇、六	前五時五十分熊野發黑山出曾根漁獲薄シ后五時熊野浦入泊
						三三回				其松サ 他タイ	二四三 三四〇 五二六 六一七	

記事

漁場表面水温一八、五——一九、七度ニテ鯖ハ三之助曾根最モ好漁ニシテ魚体三百匁乃至百匁内外ニシテ不同ナリ
其他松鯛、鮭、紅鯛、太目、小鱧等混獲セラレ魚價ハ根據地熊野浦ニテ壹尾二十八匁乃至十一匁相場場ナリ

月日	風力	漁場符號	漁具使用時	漁具使用數	海面水温	潮流方向	餌料種類	漁獲種類	漁獲數量	物價	摘	要
三月一日	晴南	イ	AM7 ³⁵ PM4 ³⁰	三四回	一九、三	N急	鯖	松太 鯛目	二六 一六	一九、六	荒天休泊	前五時五十分熊野發三之助曾根波浪高ク后六時廿五分熊野浦歸泊
二日	晴南	イ	AM7 ³⁵ PM4 ³⁰	三四回	一九、三	N急	鯖	松太 鯛目	二六 一六	一九、六	荒天休泊	前五時五十分熊野發三之助曾根波浪高ク后六時廿五分熊野浦歸泊
三日	雨北										荒天休泊	
四日	雨北										荒天休泊	
五日	曇										荒天休泊	
自七 至十五日	晴										荒天休泊	
十六日	晴										荒天休泊	

荒天休泊
前五時五十分熊野發三之助曾根波浪高ク后六時廿五分熊野浦歸泊
荒天休泊
前六時熊野發后五時五十分山川着
前七時山川發谷山ヲ經后三時十分鹿兒島港寄着
鹿兒島港滞泊
前十一時二十分鹿兒島發后三時卅五分山川入泊

三月十七日	十八日	十九日廿日	廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	自廿五日 至廿七日	廿八日	廿九日
晴	曇		曇 西北		晴	晴		晴 北 西	曇 南 西
一北	一北		イ		ニ	×ニ		ロイ	ニ
			AM 8 20		AM 6 15	AM 6 30		AM 6 40	MA 6 05
			AM 10 40		PM 1 10	PM 1 40		PM 3 30	PM 1 25
			六一 鉢回		一三 四鉢回	一三 六鉢回		一三 六鉢回	一三 二鉢回
			一八、五		一八、五	一九、五		三〇、 S緩	一九、三
			ESF緩		N急	S緩		N急	N急
			鹽		鹽	同		鹽	同
			鯉 小鯖 鯛		鯉 松鯖 鯛	尾長鯛		鯉 松鯖 鯛	同
			二〇		三三	二		三三	
			五、六		九、六	〇、九〇			
山川港休泊	前五時山月發后三時卅五分熊野浦入泊	荒天休泊	前六時四十分熊野發三之助曾根操業中荒天トナリ后一時十分熊野入泊	荒天休泊	前四時三十分熊野發黑山出曾根操業北行ノ潮急ナリ后三時十分熊野浦入泊	前四時五十分熊野浦發黑山出曾根投繩後沖黑山出曾根ニ向フ后三時三十分熊野浦入泊	荒天休泊	前四時四十分熊野發三之助曾根辨鯛曾根操業后五時四十五分熊野歸泊	前四時五分熊野發沖ノ黑山出曾根操業シタレド流獲ナク后三時熊野歸泊

計	三月廿日	三月廿日
	曇北東	曇西
	同	イ
	AN630	AM700
	AM830	PM235
二〇回	四一鉢回	一三鉢回
	二〇°C	一九°C
	EIN急	ENE
	鹽鯉	鹽鯖
其松サ 他タイバ		
一六六 三三三 四二六		
	前五時三十分熊野浦發三之助曾根中ノ間曾根操業后四時五十分熊野入泊	前五時三十分熊野浦發三之助曾根中ノ間曾根操業后四時五十分熊野入泊
	業困難〇時四十分熊野入泊	前五時十五分熊野浦發三之助曾根操業東行ノ潮流急ニシテ操業困難〇時四十分熊野入泊

記事

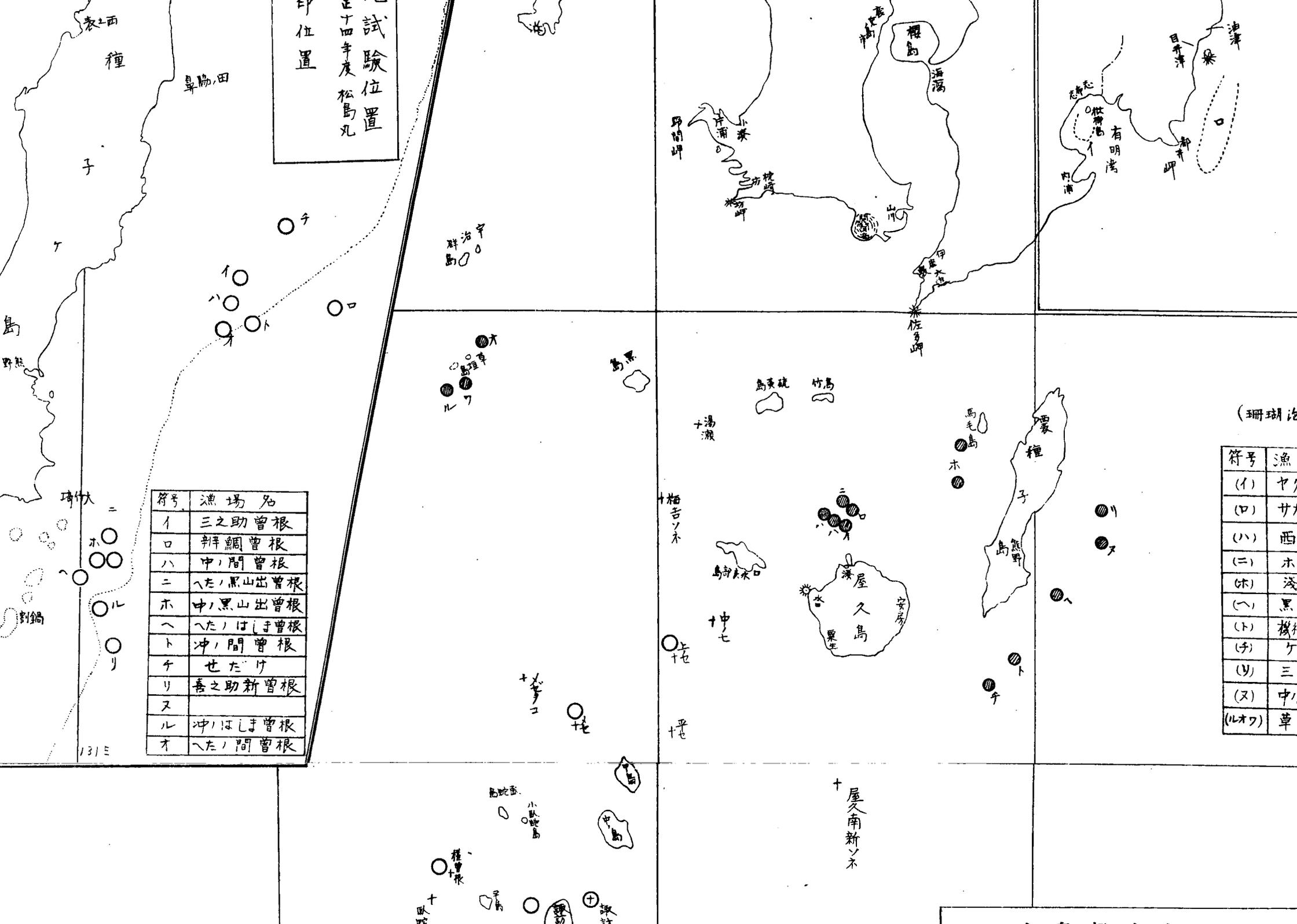
上旬稍ヤ漁アリタル共中旬以降潮流急激トナリ海水混濁シ漁況不良トナリ頗ル不振ニ陥レリ僅カニ底棲魚ノ漁獲ヲ見ルノミ

四月一日	四月一日	四月一日
曇	曇	曇
二南	二南	二南
ニホ	ニホ	ニホ
PM130	PM130	PM130
PM330	PM330	PM330
七二鉢回	七二鉢回	七二鉢回
二〇°C	二〇°C	二〇°C
N緩	N稍急	N稍急
鹽飛魚	鹽飛魚	鹽飛魚
松小フ	松小フ	松小フ
雑ホ紅	雑ホ紅	雑ホ紅
魚タ鯛	魚タ鯛	魚タ鯛
一〇	一〇	一〇
〇.七	〇.七	〇.七
荒天休泊	荒天休泊	荒天休泊
前四時三十分熊野發黒山出曾根操業后六時三十分熊野入泊	前四時三十分熊野發黒山出曾根操業后六時三十分熊野入泊	前四時三十分熊野發黒山出曾根操業后六時三十分熊野入泊
浦歸泊	浦歸泊	浦歸泊

鯖延縄漁業試験

四月六日	七日	八日	九日	十日	十一日	十二日	十三日	十四日
雨東北	晴西北	曇西南	曇北東	曇北東	曇北西	曇北西	晴北	曇北西
イ	ホヘ	ハ	ハチノ	ハチノ	ヘリ	ニ	ニ	ニ
AM800	AM730	AM645	AM615	AM615	AM720	AM720	AM720	AM700
PM020	PM445	PM1040	PM210	PM210	PM235	PM235	PM23	PM119
八二	一四五	八二	二二三	二二三	一四三	一四三	一三〇	一三三
鉢回	鉢回	鉢回	鉢回	鉢回	鉢回	鉢回	鉢回	鉢回
二〇七	三〇〇	二〇〇	二九二	二九二	一九二	一九二	一九五	二〇〇
N急	SW稍急	N緩	N緩	N緩	N急	S緩	S急	S急
鹽生	鹽生	同	鹽	鹽	生	太瀨	太瀨	太瀨
鯖鯖	鯖鯖	鯖鯖	鯖鯖	鯖鯖	鯖鯖	鯖鯖	鯖鯖	鯖鯖
太瀨	松紅太	同	瀨	瀨	生	太瀨	太瀨	太瀨
鯛	小松紅太	同	瀨	瀨	生	太瀨	太瀨	太瀨
鯛	カノ鯛鯛目	同	瀨	瀨	生	太瀨	太瀨	太瀨
四	四	四	一	一	一	一	一	一
〇、七三	九、三六	九、三六	一、五九	一、五九	一、五九	七、三三	七、三三	〇、七三
前六時熊野發三之助曾根沖ノ間曾根操業潮流北ニ急ニシテ降雨アリ操業困難后二時十分熊野浦ニ歸泊	荒天休泊	前四時四十分熊野發はしま曾根沖ノ黒山出曾根ニ從流后六時三十分熊野浦入泊	荒天休泊	前四時廿三分熊野發中ノ間曾根操業中荒天トナリ后一時廿分熊野浦ニ入泊	前四時五分熊野發三之助曾根せだけ中間曾根操業后三時四十分熊野浦入泊	前四時廿五分熊野發へたの黒山出曾根操業后三時熊野歸泊	前四時五分熊野發へたの黒山出曾根操業后三時熊野歸泊	前五時十五分熊野發へたの黒山出曾根はしま曾根操業后三時熊野浦入泊

試驗位置
正十四年度 松島丸
印位置



符号	漁場名
イ	三之助曾根
ロ	辨鯛曾根
ハ	沖ノ間曾根
ニ	へたノ黒山出曾根
ホ	中ノ黒山出曾根
へ	へたノはし曾根
ト	沖ノ間曾根
チ	せたけ
リ	善之助新曾根
ヌ	
ル	沖ノはし曾根
オ	へたノ間曾根

(珊瑚地)

符号	漁
(イ)	ヤ
(ロ)	サ
(ハ)	西
(ニ)	ホ
(ホ)	浅
(へ)	黒
(ト)	楳
(チ)	ケ
(リ)	三
(ヌ)	中ノ
(ルオ)	草

131E

五、珊瑚漁場調査

趣旨 本縣ノ珊瑚漁業ハ宇治草垣群島ヲ主トシ甌島手打ニ專業者アルモ近年舊礁ハ落木ノ少量ヲ得ルニ止マリ生木ノ得ラル、ハ極メテ稀トナリ年々産額ヲ減セリ去ル大正五年及同八年本場ハ珊瑚水産組合ト協力シ新漁場調査ヲ爲シタルモ當時猶舊漁場ニ少量ナカラ漁獲アルヲ以テ營業者ハ新海區ニ進出スルニ至ラス益衰況ニ陥ルヲ以テ本年度更ニ本調査ヲ開始セリ

調査方法 調査船ハ松島丸ニテ常備六名珊瑚水産組合ヨリ推選セル漁夫三名外主任者一名計十名乗組十四年七月十七日ヨリ八月三十一日迄調査セリ嘗テ大正八年ノ調査ハ宇治草垣群島ヨリ黑島附近ニ及ヘルユヘ本年ハ種子島方面ヲ調査シ後珊瑚水産組合ヨリ舊漁礁草垣島近海ニ未タ漁業セサル底礁調査ヲ求メ同時ニ手打漁業者ヲ總探見トシテ出漁セシムルコト、ナレルユヘ草垣島近海ヲ調査セリ

◇具 曳網 錘石網ノ三部ヨリ成リ本年使用ノモノ次ノ如シ

曳網 縣内産麻徑四分ノ三子左撚長三十二尋ヲ一房トシ四房ヲ以テ一具トシ網ノ末端ニ瀨スラセト稱シ同麻徑一分五厘ト二分ノモノヲ二子撚トシタルモノ三尋ヲ附ス

錘石 自然石重量二貫乃至二貫五百匁ノ花崗石ニテ表面滑カナルモノヲ針金(十三番)ニテ枠ヲ作り瀨スラセト錘石ヲ同針金二條ヲ以テ連結シ石ノ側部ニハ四ヶ所ニ環ヲ作り網ヲ連結セシム

網 麻糸蛙又五寸目五十掛二十節編卸シ縱目ニ用ヒ(此長五尺重量五十匁)同上四反ヲ以テ一網トス

染料 普通橙皮染トスルモ今回ハカツチ染トセリ漁具費ハ曳網四房ニテ十六圓綱地四反ニテ二圓六十錢計十八圓六十錢「外ニ針金代」ヲ一具代トシ漁船一隻ノ使用數ハ七具ト外ニ綱地五十反乃至七十反ヲ準備ス

漁具使用

本漁業ハ風向力潮流等自然力ニ支配セラル、コト多ク普通潮流ニ從ヒテ深キ方ヨリ瀬ノ頂上ヲ垂ラシタル網カ撫テ去ルノ目的ニテ曳網ス一回ノ操業ハ四具乃至六具ニテ一人一具ツ、ヲ支持スルモ揚網ノ際ハ數人協力シ引揚ク。

經過成績

本調査期間四十七日中出漁日數十三日曳網回数四十五回ニシテ其結果左ノ如シ

第一期

七月二十七日ヨリ同三十一日迄屋久島北屋久曾根及馬毛島南方ヲ調査セシニ屋久曾根ニテ海松カセ(石花礁)小海草ヲ得タルモ珊瑚ノ發生ヲ見ヌ馬毛島南方ハ岩礁ニ當ラス

第二期

八月三日ヨリ同六日迄種子島東南ニテ二十二回操業黒山出曾根ニテ桃生木赤生木ノ折及白小枝ヲ得之等暗礁ハ尙ホ探查スルニ從ヒ有望ナルモノト認メタリ

第三期

八月二十四日ヨリ同三十一日迄手打帆船ト共ニ草垣島附近未タ漁業セサル場所ノ底礁ニ付本船ハ主トシテ鍾淵ニカメ五ヶ所ヲ發見シ十三回曳網セシニ同島南二湮及北東ノ二ヶ所ニテハ珊瑚類縁ノ七助珊瑚及其着生ヲ見ルゴロタ塊ヲ得尙ホ調査スルニ於テハ珊瑚ノ端緒ヲ得シル、ニアラサルカト思ハルモ漁礁小ナルカ如シ

以上調査ヲ以テ本年ハ終了セルカ本船種子島調査ノ際ハ山川港ノ漁船一隻操業セルニ相當漁獲アリ草垣島方面調査ノ際ハ手打帆船モ珊瑚水産組合ノ補助ヲ得總探見ニ從事シ本船助力スル所アリシモ其漁獲ハ見ルヘキモノナカリシ

珊瑚漁礁調査經過及觀察

月 日	位 置	記 事
七月廿七日	屋久島下リ曾根附近	下リ曾根ノ續礁アルヘシトノ推定ニヨリ鍾淵七十五尋ニテ海底ニ達セシモ砂底ニテ礁ニ當ラス

日期	地点	調査内容
七月廿七日	同	附近會根アリトノ説ニヨリ鍾測八十尋ニテ達セシモ砂底ニテ礁ニ當ラス
廿九日	屋久 會根	當日山見不能ノタメ鍾測三回ニテ六十一尋具殼混リノ砂底ニ達シ屋久會根ナルヲ確メ二回曳網セシモ小海藻ヲ得タルノミニテ其他附着物ナク潮ノ傾斜ニシテ其間ハ岩盤ナルコトヲ想像ス
同	同上附近下リ會根	鍾測五尋ニテ附着物ニヨリ會根ナルヲ確メ東ニ向ヒ一四曳網海松カセ其他小石ノ附着セル海藻ヲ得瀨ノ荒キヲ想像ス
廿日	同上附近西會根	鍾測五尋ニテ瀨ニ達シ第二回ハ東ニ三連曳クカセ海藻多數ヲ得ルモ珊瑚ノ氣ナシ第三回ハ北東ニ三連曳網海藻ヲ得
同	同ホク會根	鍾測五十尋ニテ瀨ニ達シ南東ニ曳網海藻ヲ得タリ第二回ハ南西ノ方ヨリ曳網海松カセ海藻ヲ得此時表面流ハ東ニ流ル、モ底流停止シ曳網ニ適セス珊瑚ノ氣ナシ
同	同下リ會根	鍾測四十五尋ニテ瀨ニ達シ(海底水温二十一度)一回曳網カセ海藻ヲ得珊瑚ノ氣ナシ
同	屋久島宮ノ浦沖八連	鍾測四回九十尋ニテ海底ニ達セルモ砂底ニテ礁ニ當ラサルタメ曳網スルニ至ラス
同	沖ノ會根	鍾測四十尋貝殼岩石ニシテ曳網海藻少量ヲ得タルノミ淺キニ過ク
廿一日	淺會根ノ南八連	鍾測六十尋北東ニ曳網海藻少量ニシテ當時潮流可ナリシモ珊瑚ノ望ナシ
同	馬毛島ノ西	鍾測四十尋北東ニ曳網海藻少量ニシテ當時潮流可ナリシモ珊瑚ノ望ナシ
八月三日	種子島東黒山出會根	前七時ヨリ后五時迄一七回曳網初メハ表流南ニ緩方ニシテ下層流停止セルタメ流獲ナク第五回目ニ潮流稍良好トナリ赤ノ生木折白小枝上ル潮ハ荒ク潮流順調ナルトキハ可ナリ見込アルモノト思ハル
同	鍋割瀨ノ南三連	一面曳網南向流早シ海藻ヲ得タルモ珊瑚ノ望ナシ
同	機械新會根	鍾測八十尋瀨ニ達シ一回曳網西向流早ク網瀨ニ達セス小海藻ヲ得タリ
四日	同上西側南ク新會根	四日三回曳網北西流早ク小海藻ヲ得タルニ止マル五日三回曳網カセ海藻ヲ得タルニ止マル附近端島會根ヲ鍾測百五十尋ニテ達セルモ砂底ニテ礁ニ當ラス
五日	黒山出會根(前出)	三回投網第一回ニ七助カセ海藻白赤珊瑚ノ落木小ナルモノ確ルカセ七助海藻ハ各回ニ得ラル
六日	三之助新會根	四回曳網カセ七助ヲ得タリ會根柔カキタメカ網ノ礁内ニ喰込ムコトアリ
同	沖ノ間會根	二回曳網風速ク網浮キテ操業困難ナリ本年四月手打帆船來リ珊瑚二百六十匁ヲ六トシ其他小枝二三上ケタルコトアリト云フ
十六日	佐多岬沖會根	二十年前舊瀨ヲ見タルトコロニテ調査ニ向ヒシモウネリ浪高ク曳網不能トシタル
廿四日	草垣島南西二連	三回鍾測百尋九十五尋九十尋ニテ瀨ヲ確メ得タルモ波浪大ニシテ操業シ難シ
廿六日	同前	前日鍾測ノ位置ニ二回曳網ゴロタ七助ノ小ナルモノ上ル西潮流緩ナルモ珊瑚ノ生育ニ適セサルカ得ル所ナシ午後ノ潮三回曳網セルモ東向流急ニシテ網礁ニ達セス本島南東ニ三回鍾測セルモ一回砂底ニ達セルノミニテ礁ニ當ラス

珊瑚漁礁調査經過及觀察

傳書鳩利用試驗

試驗趣旨

本試驗ハ傳書鳩ニ由リ出漁中ノ漁船ヨリ陸地ニ通信連絡ヲ爲ス方法ヲ獎勵セントシ大正十年陸軍省ヨリ日耳義系軍用鳩六十羽ノ保管轉換ヲ受ケ試驗ニ着手シ其成績良好ニシテ漸次利用方面擴カリツ、アリテ本年モ川邊郡枕崎町所在鳩舎ニ於テ繼續シ飼育鳩ノ貸與使用民、間飼育使用ノ獎勵及地方產雜穀飼料ノ使用試驗ヲ爲セリ

一、飼育蕃殖

飼育鳩ノ増減

各月末現在鳩數左ノ如シ

十四年	一月 一〇一	五月 一〇一	六月 九六	七月 九六	八月 九二	九月 七九
十月 七八	十一月 七四	十二月 七四	十五年 一月 七〇	二月 七〇	三月 六八	

本年度中失踪死亡鳩三十七羽(雛鳩トナラサル前ノ死鳩ヲ除ク) 孵化鳩百四十二羽希望者へノ配布鳩百四十羽ニシテ年度末現在左ノ如シ

種別	鳩數	十四年中ノ失踪死亡	希望者配布	十五年三月末現在	同 上 性別
大正十年陸軍省ヨリ收容鳩	十四年四月一日 一〇	死 一		九	雄雌 六三
同十一年ヨリ十三年中孵化鳩	同 九三	死 二八 失 八		五七	雄雌 三一 二六
十四年度中孵化鳩	二四七	孵化后死亡 一〇五	一四〇	二	雄雌 一一
計	三五〇	一四二	一四〇	六八	雄雌 三五 三三

病鳩 本年中病鳩八羽ニシテ三羽ハ鳩舎附近訓練中電線ニ衝突シテ翼病ヲ發シ四羽ハミユシゲ病一羽ハラドル病

ニテ斃死シ外ニ五羽ノ病鳩ヲ出セルモ治療快復セシメタリ

産卵孵化 本年中ノ産卵三百八十一個ニシテ抱卵中破損セシモノニ二十二個腐敗百二十六個ヲ出シ孵化セルモノ

ノ二百四十七羽ニシテ孵化后間モナク死亡セルモノ百五羽ニテ差引百四十二羽ノ雛鳩ヲ得タリ月別ノ狀況左ノ如シ

月	別	産卵數	抱卵中破損	抱卵中腐敗	孵化數	孵化後死亡	雛鳩
四	月	三八	一	一六	三六	五	三一
五	月	四五	四	九	二三	六	一七
六	月	四二	二	一七	三〇	七	二三
七	月	二三	一	七	一六	一一	五
八	月	三九	一	一一	二〇	七	一
九	月	一九	一	三	二〇	五	一五
十	月	三五	三	二六	二六	六	二〇
十	月	二二	四	一三	一五	九	減四
十	月	一五	二	〇	一三	〇	三
一	月	三七	一	一七	八	四	四
二	月	二九	四	八	一五	四	一一
三	月	三六	一	九	三五	一六	一九
計	月	三八一	二三	一二六	二四七	九〇	一四二

失踪鳩

本年中失踪鳩ハ二十八羽ニシテ内四羽ハ訓練中鷹ノ襲來ヲ受ケテ行衛不明トナリ他ノ二十四羽ハ漁船

ニテ使用中方向ヲ失シ或ハ猛鳥ノ要撃ニヨリ失踪セルモノナリ其狀況左ノ如シ

失 踪

〔大正十四年中〕

失踪月日	鳩番號	羽色及特徴	生年月	性別	記	事
六月五日	二八三	モサイク	十二年五月	雄	第二南薩丸口永良部島ヨリ放鳩ノ際失踪	
同	二九〇	灰ゴマ	十三年五月	雌	同	
七月廿七日	二六九	灰ゴマ兩羽白	同 四月	雄	第二清海丸片浦ヨリ放鳩ノ際同	
八月十日	二八一	モザイク	同 五月	雄	幸榮丸上飯島ヨリ放鳩ノ際同	
同 六月	九九	黒ゴマ	十二年十二月	雄	大宗丸長島ヨリ放鳩ノ際同	
同 十六日	一六四	灰ゴマ	十二年七月	雄	幸榮丸硫黃島ヨリ放鳩ノ際同	
同 十七日	一〇二	灰	同 二月	雄	第二新蛭子丸長島ヨリ放鳩ノ際同	
同 廿一日	二七五	濃灰ゴマ兩羽白	十三年五月	雄	第二南薩丸惡石島ヨリ放鳩ノ際同	
同	二五四	栗ゴマ	同	雄	同	
同 廿七日	一三五	灰	十二年五月	雄	第二山平丸口永良部島ヨリ放鳩ノ際同	
同	一七二	灰	同 七月	雌	同	
同	一一七	灰ゴマ	同 二月	雄	生徳丸西之表ヨリ放鳩ノ際同	
同	二七三	灰ゴマ胸差毛	十三年五月	雄	同	
九月二日	一六〇	灰	十二年五月	雄	第五蛭子島寶島ヨリ放鳩ノ際同	
同	一七六	同	同	雄	同	
同	一二五	同	同 三月	雌	訓練中鷹害ノ爲同	
十月十一日	一六二	灰ゴマ眼尻差毛	十一年七月	同	同	

同	三月十二日	一三二	灰	同	同	同	同
同	同	一九二	灰	栗	同	同	同
同	同	一〇七	灰	マ	同	同	同
同	同	二七六	同		同	同	同
同	同	二七九	同		同	同	同
同	十二月十九日	二五六	灰		同	雄	同
同	同	二七〇	同		同	雌	同
同	十一月五日	三〇〇	灰	マ	同	同	同
同	同	二七二	同		同	同	同
同	同	二八四	同		同	同	同
同	十月十七日	二五五	灰		同	雄	第一清海丸寶島ヨリ放鳩ノ際失踪

計 二十八羽 (雄二十三羽雌五羽)

一、漁 場 通 信

試験經過

十四年四月ヨリ十五年三月迄ノ鯉漁船携帶回数三十回ニシテ内二十九回通信ニ使用シ一回ハ本船カ夜間入港ノタメ放鳩ノ機會ヲ逸セリ而シテ使鳩二十九回ノ内十四回ハ餌場ヨリ餌入ノ狀況及本船ノ出漁時ヲ報告シ二十五回ハ漁場又ハ歸港途次ヨリ漁獲高ヲ通知セルモノニテ有効ニ到達セリ

以上使用二十九回ノ鳩延數ハ九十羽ニシテ歸還セルモノ六十六羽失踪セルモノ二十四羽ニシテ放鳩最大距離ハ惡石島寶島ノ三百吉米ニテ飛翔速力ハ硫黃島枕崎間五十六吉米ヲ僅カ四十分間ニテ達セルモノニテ一分間千八百六十六米ヲ

示セリ詳細ノ成績左ノ如シ

漁船使鳩成績 (大正十四年)

船名	積込月日	鳩數	放鳩日時	放鳩位置	歸舍日時	時間過	速一分間	記	事
第一大正丸	五月六日	三	五月十二日 前五月五日	竹六(吉米)島	五月十二日 前七月二日	一、四十分	七二米	流獲高及餌揚入港豫定報告	
新榮丸	同 十二日	三	前同 五、十二日	片二四浦	前同 六、十二日	一、三十分	四〇〇	出流報告	
第二大正丸	同 八日	三						夜間入港放鳩ニ至ラス	
第二南薩丸	六月二日	三	后同 三、五日	口永良部島	前同 一〇、六日	八、〇〇	三六三	流獲報告	
幸榮丸	七月二十二日	三	后同 三、二三日	硫黄五島	后同 四、〇〇日	〇〇	一、八六	二羽失踪トナル	
第三清海丸	同 二十六日	三	前同 七、五〇日	片三四浦	前同 九、〇〇日	一、二〇	六〇〇	一羽失踪トナル	
三嶽丸	同 二十五日	三	前同 六、三〇日	櫻五〇島	前同 七、一〇日	〇〇	一、四六		
第五姪子丸	同 二十八日	三	后同 三、三十一日	山川四八沖	后同 三、三〇日	一、三〇	六八		
第一大正丸	同 三十一日	四	前八月五日	枕崎沖	前同 五、〇〇日	一、〇〇	三		
第二南薩丸	八月六日	三	后同 三、七日	硫黄六〇島	后同 四、〇七日	一、一〇	一、〇〇		
第三清海丸	八月七日	三	后同 五、〇八日	開聞三二沖	后同 六、〇八日	一、〇〇	六〇		
第三姪子丸	七月二十七日	三	前同 四、三〇日	枕崎沖	前同 五、〇〇日	〇〇	一〇〇	流獲報告	

傳書鳩利用試験

今福丸	幸榮丸	大寶丸	幸榮丸	第三蛭子丸	稿二新蛭子丸	第二南薩丸	第五蛭子丸	生德丸	第二山平丸	第五蛭子丸	三嶽丸	第一大正丸	第三南薩丸	第一清海丸
八月九日	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
三	三	三	三	一	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
前八月十五日	前同	后同	后同	后同	前同	前同	前同	前同	前同	前同	后同	后同	后同	后同
三〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
長	上	長	長	山	長	惡	硫	西	口永良部	寶	上	平	硫	寶
一二島	〇〇島	一〇島	一〇島	川四二港	一〇島	石三〇島	黃五六島	一〇表	一〇表	二八〇島	一三二	一五〇	黃五六島	二八〇島
前五月十日	后同	后同	后同	后同	前同	后同	前同	九月三日	前同	后同	后全	后全	后全	后全
一〇〇	二〇	六〇	六〇	二〇	六〇	六〇	六〇	一〇	一〇	七〇	四〇	四〇	四〇	四〇
五〇〇	四〇〇	五〇〇	五〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	四〇〇	二〇〇	三〇〇	二〇〇	二〇〇	一〇〇
出漁報告	一羽失踪	一羽失踪	一羽失踪	出漁報告	一羽失踪	二羽失踪	二羽失踪	二羽失踪	二羽失踪	二羽失踪	全	全	出漁報告	天候不良全部失踪

第一大正丸	十二月十三日	四	前九月十九日	資	二八〇島	九月十二日	天候不良全部失踪
大洋丸	三月十一日	三	前七月十二日	垂	五八水	九月十二日	出漁報告
茂丸	全二十一日	三	后全三十一日	全全	五〇	三六二〇日	二羽失踪
							三六八全

前年本場飼育鳩ヲ漁船ニ貸與携帶セル回数ハ八十六回ニシテ之ニ比シ本年其數ヲ減シタルハ本場配布鳩ヲ自ラ飼育使用スルモノ増加セシニ由ルモノニシテ全体ヲ通スレハ海上使鳩回数ハ著ルシク増加シツ、アリ

三、飼料試験

趣旨 傳書鳩ノ飼料トシテ白豌豆蜀黍ハ良好ナルモ遠ク縣外ヨリ移入スルヲ以テ地方隨所ニ得ラルル粟麥等ノ雜穀ニヨリ飼育セントシ前年來四羽入ノ小試験室四個ヲ設ケ四種ノ配合方法ニヨリ飼育シ時ニ其体量ヲ檢シ其結果良好ナルモノヲ得之ヲ汎ク民間飼育者ニ獎勵シツ、アリテ本年ノ經過左ノ如シ

飼料種類配合

第一號室	第二號室(標準室)	第三號室	第四號室
種類	種類	種類	種類
粟	白豌豆	粟	粟
麥	蜀黍	麥	麥
苧	米	苧	菜積子
菜	菜子	菜	菜積子
計		計	
配合	配合	配合	配合
〇、八	一、五	〇、八	一、五
〇、七	〇、七	一、三	一、〇
〇、五	〇、一	〇、四	〇、一
〇、五	〇、二	〇、四	〇、一
二、五	二、五	二、五	二、五

体量増減

前表配合飼料ヲ與ヘタル各室鳩ノ体量増減次ノ如シ

各室体量増減調 (二羽ノ体量ヲ示ス)

月別	壹號室		二號室		三號室		四號室	
	量	増減	量	増減	量	増減	量	増減
四月	一九三	増	一四五	増	二〇二	減	一八五	増
五月	一八二	減	一五二	減	一九五	全	一八四	増
六月	一八一	増	一五一	増	一八五	全	一九二	増
七月	一八八	増	一五六	増	一九〇	全	一八四	増
八月	一七一	減	二二四	全	二〇二	全	二〇八	増
九月	二〇八	増	二二六	全	二二六	全	二〇八	増
十月	二〇〇	減	二二六	減	一九八	全	二〇〇	増
十一月	二〇五	増	二〇三	全	一九五	全	一九六	全
十二月	二〇八	減	一八四	全	一九四	全	一九〇	減
一月	一八四	減	二二二	増	一八六	増	一九〇	増
二月	二〇〇	増	二三〇	全	二一八	増	二二二	増
三月	二二三	全	二二九	減	二七〇	減	二〇〇	減
平均	二二三		二二九		二七〇		二〇〇	
一年	三十五	増	八十九	増	三十二	増	二十一	増
一月	二九		七四		二六		七	

本表ニヨレハ白豌豆玉蜀黍ヲ與ヘタル第二號室ノモノ特ニ優良ニシテ粟ヲ用ヒタルモノトノ差大ナルハ前年ノ結果ト著ルシク相違セリ混用種類ノ多キモノハ少キモノニ勝レルヲ見ルナリ

四、傳書鳩民間配布

配布經過

鳩カ通信用トシテ有効ナルハ漸ク漁業者間ニモ認ラ、ニ至リ民間飼育ヲ獎勵センカタメ大正十二年度ヨリ離鳩ヲ配布シ本年度ニ於テ總計百四十羽ヲ配布シ初年來ノ累計三百三十七羽人員九十二名ニ及ヒ漁船ヨリ陸上ニ又ハ陸上間ノ通信ニ利用セラレツ、アリ

鳩配布先及番號特徵

配布先	配布鳩番號	特徵
川邊郡枕崎町	小湊留吉	四〇三 モサイク
巖島市 四千五百町	自動車組合	四〇八 モサイク
川邊郡枕崎町	大迫茂樹	四二五 灰コマ
全	北村牧太	四一四 濃灰コマ
全	小湊嘉次郎	四三三 濃灰コマ
全	安達英二	四二二 灰コマ
大半 田市	第五尋高小學校	四一九 灰コマ
揖宿郡穎娃村	赤崎甚五郎	四一五 灰コマ
川邊郡枕崎町	黒松圭二	四二九 灰コマ
全	田尻惠吉	四三〇 灰コマ
全	尋高小學校	四三二 濃灰コマ
出水郡出水町	高等女學校	四三六 灰コマ
		四四二 灰兩羽白
		四四八 モサイク
		四五〇 灰兩羽白
		四五六 灰
		四〇六 灰
		四〇九 全
		四二七 クロ
		四三五 モサイク
		四二四 灰コマ片羽白
		四三一 灰
		四一三 クロ
		四二一 全
		四二八 灰
		四三八 灰コマ白班
		四二二 栗コマ
		四一八 栗コマ
		四一七 栗コマ
		四二〇 全白班
		四〇四 栗コマ
		四一〇 灰
		四〇五 モサイク
		四三七 黒コマ
		四一六 全
		四三九 濃灰コマ

